

購入・レンタル

4つのご利用プランがあります。
ご年齢やお体の状況によって利用できるプランが異なります。

	WHILLレンタル (自費)	レンタル (介護保険制度利用)	購入 (自費)	購入 (補装具費支給制度利用)
費用	14,800円 (月額)	Model RK: 約2,500~2,800円(月額) Model CK2: 約2,700円(月額)	Model R: 357,000円 Model C2: 487,000円	0円~10万円 (買い切り)*
利用する 制度名/ サービス名	WHILLレンタル 年齢や介護保険の有無に関わらず、どなたでも1か月からずっと使い続けられるレンタルサービスです。	介護保険制度 介護が必要だと認定されれば、電動車椅子をレンタルする費用の9割が給付される制度です。	なし	補装具費支給制度 身体状況、年齢、職業、学校教育、生活環境等の諸条件を考慮して、電動車椅子の購入にかかる費用の一部または全部を市町村が支給する制度です。
対象となる 年齢	どなたでも(未成年の方の場合、親権者等の法定代理人の同意を得たうえでお申し込みください)	・40歳~64歳の方で、介護保険制度における特定疾病をお持ちの方 ・65歳以上の方	どなたでも	・39歳以下の方 ・40歳~64歳の方で、介護保険制度における特定疾病をお持ちではない
対象となる 身体状況	どなたでも	要介護認定を受けた方	どなたでも	身体障害者手帳をお持ちの方 指定難病をお持ちの方
手続き	WHILL社の公式ホームページ、お電話での申し込みが可能	担当ケアマネージャーによる承認が必要	WHILL社の公式ホームページ、お電話での申し込みが可能	自治体に申請して、判定などの手続きが必要
対象機体	Model C2	Model RK/CK2	Model R/C2	Model C2/F
アプリ利用	可	不可	可	可
WHILL Smart Care 加入	可	不可	可	可

Model RK/CK2とは、介護保険を利用して使用される機種です。ただし、アプリ利用不可でWHILL Smart Care 加入不可となります。
*身体・生活状況を考慮して自治体からの支給額が決定します。支給額には個人差があり、記載の額を超える可能性もあります。

患者様・担当利用者様のご自宅での無料試乗申込

お住まいの生活環境で、じっくりお試しできます。

自宅周辺の坂道を登れるかどうか

玄関に置けるかどうか

ちゃんと操作できるかどうか

- ✓ 自宅で無料試乗
- ✓ 配送料や調整料は一切なし!
- ✓ トレーニングされた専門スタッフがご対応します
- ✓ 所要時間1時間~2時間

事業所・病院での試乗会/勉強会リクエスト承ります

「職員全員で体験したいので
事業所に持ってきてほしい」
「取扱可能な事業者を紹介してほしい」
などお気軽にご相談ください。



試乗の申し込み
はこちら



近距離モビリティ WHILLで サポートする自立の形



ウィル
WHILL 株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-1-11
ハーバープレミアムビル 2F

ウィルコンシェルジュデスク
TEL: 0120-696-527

営業時間: 平日 9:00~18:00
※通話料無料

2025.09



近距離モビリティ WHILL^{ウィル}は老若男女さまざまな方にご利用いただいています。
 ウィルユーザー様の事例を元に、
 移動支援や自立的な生活についてお伝えします。

INDEX

1	介護 / 医療現場の新常識 1 電動車椅子は重度障害者だけが 使う物ではない	P3
2	介護 / 医療現場の新常識 2 「電動車椅子に乗ると歩けなくなる」 は間違い	P5
3	安全な利用のための取り組み	P17
4	近距離モビリティ WHILL のご提案	P19
5	WHILL Model C2 のご紹介	P23
6	WHILL Model R のご紹介	P25

介護/医療現場の新常識1
 電動車椅子は重度障害者だけが使うものではない

中軽度の身体障害がある高齢者こそ、
 電動車椅子が自立のサポートに！

今まではこのような利用ステップだけだと考えられてきましたが…



実際にはこのような利用ステップが多く見られました。



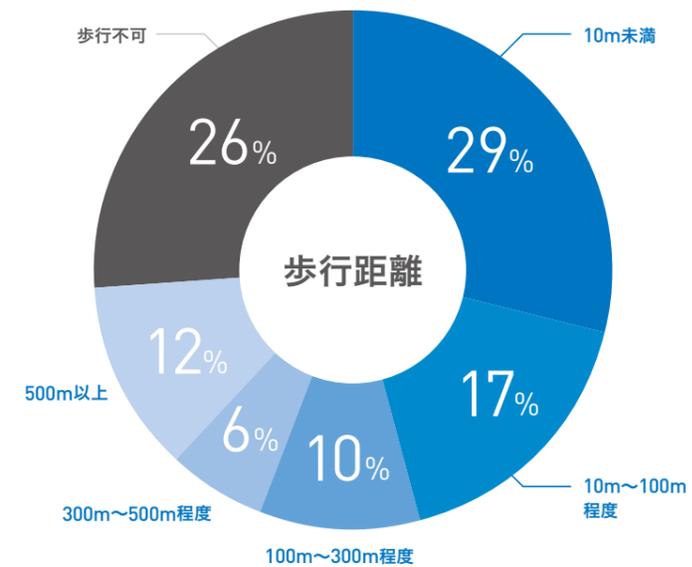
よくあるイメージ

電動車椅子は、手動車椅子が漕げなくなった人が使うもの

利用実態

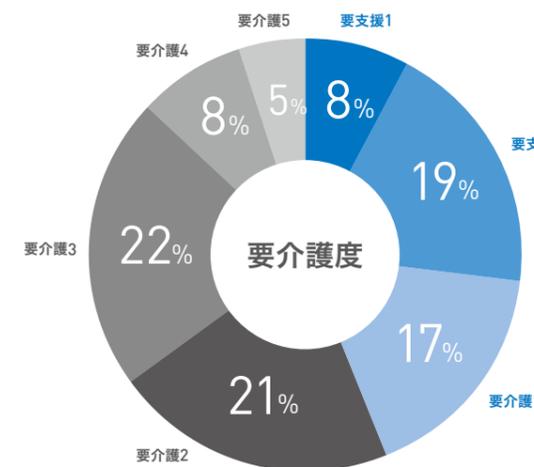
「認知機能」の衰えのない、軽度者・中度者が
 自立・外出支援のために利用しているケースが多い。

休憩なしで歩行できる距離はどのくらいですか？



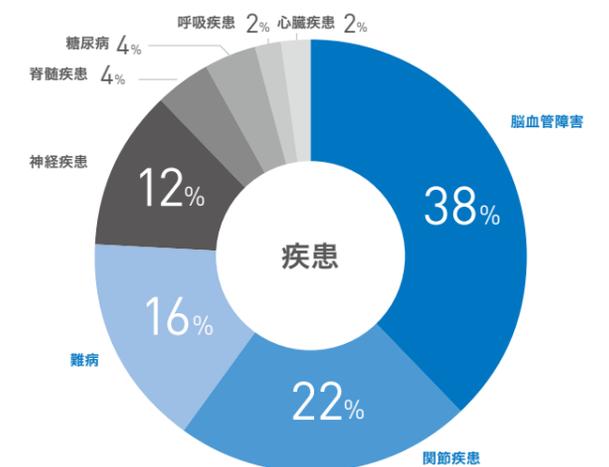
約75%
 の利用者が
 歩行可能です。

WHILLユーザー調査 2020年3月19日~31日Web上で実施
 回答者数86名



**約45%が介護保険では
 軽度者にあたる方。**

介護保険レンタル利用者に対するユーザーアンケート
 2019年1月~2020年5月Web上で継続実施 回答者数76人



**脳血管障害や
 関節疾患の方が多い。**

介護保険レンタル利用者に対するユーザーアンケート
 2019年1月~2020年5月Web上で継続実施 回答者数76人

ウィルは移動支援や、自立的な生活のための手段として利用されています。
 要介護度1以下の特例給付での利用事例も多く見受けられます。



2

介護/医療現場の新常識2 「電動車椅子に乗ると歩けなくなる」は間違い

移動ツールは自身の「行きたい」「やりたい」を叶える手段。
外出意欲を高め、行動範囲を広げます。

ケアプラン事例1

Model CK2



Cさん 要介護度1
男性 / 80代 / 170cm ・ 60kg
ご自宅生活中

- ☑ 心肥大のため、10分程度の歩行で疲れてしまう。
- ☑ 歩行時にふらつきが見られるが、痛みなどはない。
- ☑ 現在でも毎週末は近所に住む娘と外出。
- ☑ 外出自体が好きでWHILLを利用したことで、様々な所に行けるように。

Cさんの日常生活のポイント

1 同居家族



一人暮らし

2 住居環境



住居は3階建て

3 現在利用中の福祉用具



WHILL Model CK2



杖

4 現在利用中のサービス



デイサービス

5 日常生活での楽しみ



毎週末の娘とのお出かけ



近所の寺社仏閣、公園へ散歩



翌日の食材の調達



高室先生からのコメント

心臓疾患を抱えるCさん疲れやすく息切れもあり「歩く」ことがかなりの負担でした。娘さんに勧められたことで、出会ったWHILL。スタイルがかっこいいWHILLで移動の負担が減る実感を得られると行動範囲を広げたい意欲が湧いてきました。娘さんとのディズニーランドと野球観戦を「課題」にし、WHILLを使っての外出訓練や食材購入を目標としました。杖を使っての歩行訓練と水中ウォーキングも下肢と心臓の機能維持にも効果的です。寺社仏閣巡りが趣味なので、近所のお寺に通っての写経も心のリハビリとして組み込んであります。週2回のデイサービスで機能訓練と入浴を行い、塩分に配慮した食事メニューで体調の改善と維持をめざすことも位置づけられています。

ご本人を知る～現状と課題～



Cさんからのヒアリング

1. Cさんの性格・趣味・現状の生活を把握する

性格・職業歴	性格は温和。家族も仲が良く大切に育てられた。友人や知人も多く、小学校の同窓会の事務局も頼まれて20年間やってきた。5年前に亡くなった妻とは30歳のときに結婚。妻の明るい性格に惚れこみ、大恋愛の末に結ばれる。一男一女を育て上げる。仕事は〇〇区役所。異動しても話題が豊富でオモシロイので人気者だった。
趣味・こだわり	趣味は寺社仏閣巡り。近所のお寺には大写経会のために通っていた。公園を散策するのも好き。外出が好きでタウンウォッチングしながらスマホで写真もよく撮る。WHILLのおかげで外出の機会がグッと増え、次はディズニーランドと横浜市にある妻の墓参りをしたい。40代から合唱サークルに入っていて「第九」のステージに立ちたい。
疾患歴	・50代から心臓の脈拍が乱れることがあり、職場の健康診断で心臓肥大を指摘される。 ・高血圧の薬を服用しているのと、血糖値も高めなので塩分の摂取を控えている。 ・10分程度の散歩でも体が疲れてしまうことや、広いショッピングセンターなどで歩くのが辛いことがある。 ・歩行にふらつくことはあるが、膝が痛いわけではない。
生活習慣	・公務員の頃からの生活習慣は変わっていない。 ・食事は1日2食。朝と昼を11時に一緒に食べている。 ・ヘルパーさんに週2回、調理をしてもらっている。食材の購入は前日に必ず自分で行っているが、それが良い習慣となっている。

Model CK2のユーザー事例を見る

WHILLカルテvol.6



2. Cさんの意思・課題を見つける

やってみたい YATTEMITAI シートの活用

本人の生活に対する意欲（そこから見える課題）を知るために、YATTEMITAIシートを利用して「昔していたこと/今していること/やってみたいことをチェックしてもらいます。そうすることで、本人も意向を話しやすくなり、ケアプランを作成しやすくなります。CさんのWHILL使用前のYATTEMITAIシートをみてみましょう。



シートからわかるCさんのやってみたいこと

- ・WHILL利用を初めて間もないので、まだWHILLを練習中。
- ・WHILLを練習も兼ねて、娘さんと週末のお出かけをしているが、平日にもっと、一人でも今までのように外出できるようにになりたいとの希望あり。（している/してみたいにダブルチェックした）

CさんのYATTEMITAIシート

	私の「楽しみ・生きがい」 該当するところに「○」を記入してください。	している	してみたい
33	歌唱(合唱・カラオケ) 合唱仲間と会う		○
34	音楽を楽しむ(ジャンル:)	○	
35	文化鑑賞(美術館博物館他)	○	○
36	名所めぐり(場所:)		
37	温泉・健康ランド()	○	○
38	国内旅行(場所:)	○	○
39	海外旅行(国:)		○
40	お出かけ(自動車電車タクシー他)	○	○
41	遊び(種類: 娘とディズニーランド)		○
42	運動(種類:)	○	○
43	散歩(種類:)		
44	ウォーキング(種類:)	○	
45	観戦(種類: 野球を見たい)		○

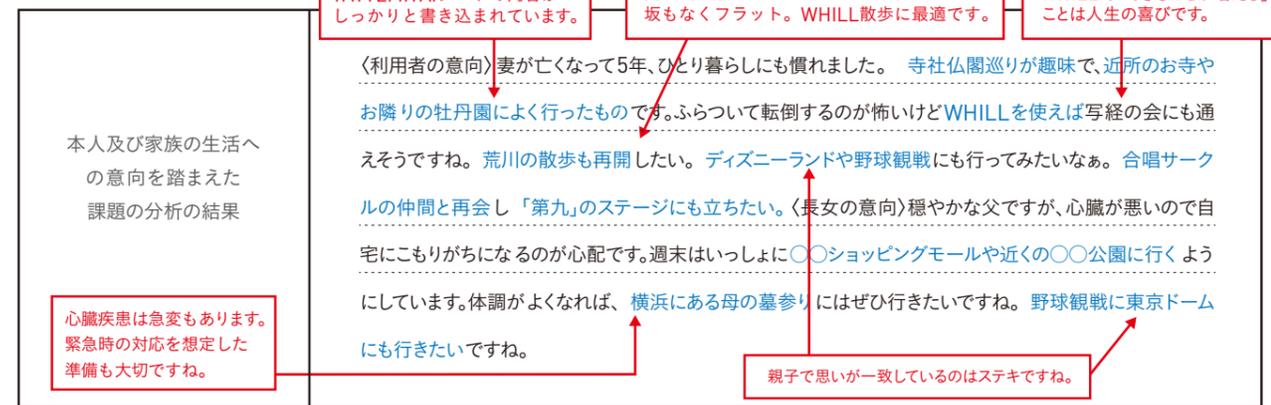
※YATTEMITAIシートは意欲動機付けシート(高室成幸監修)を一部改変。



WHILLで外出への可能性が広がってきたのでYATTEMITAIシートもとても積極的。お出かけ先も温泉・健康ランドや国内旅行・海外旅行、ランチ・ディナーに食べ歩きまで、とても広がっています。操作スキルがアップしていけば、数か月後にはさらに広がっていることが期待されます。

ケアプラン～Cさんの意思・課題に沿ったサービス計画～

居宅サービス計画1



心臓疾患があり諦めることが多かったご本人がYATTEMITAIシートで前向きになり、WHILLが可能なので西新井大師や牡丹園への散歩、定期的な写経会、ディズニーランドや野球観戦など、とてもポジティブな意向になっています。

居宅サービス計画2

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	援助目標		援助内容				
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	サービス種別	(頻度)
WHILLを使いこなし、娘と東京ディズニーランドと野球観戦を楽しみたい	安全な移動ルートと移動時間がポイント。それが決まれば1人での外出も可能になります。	6ヶ月	WHILLで近所のお寺の参道から本堂までの砂利道と石畳を移動できるようにする。	3ヶ月	①WHILLの操作マニュアルの指導を受け近所の○○公園や荒川河川敷で練習する ②さまざまな条件を想定した道路でWHILLの操作を行う ③操作練習を動画に撮り見返す	①本人/福祉用具相談員 ②本人/福祉用具相談員 ③本人	週2回 随時 随時
			自宅から近所のお寺までWHILLを使って娘と一緒に安全に移動できるようにする。	3ヶ月	①両腕と握力の筋力アップのトレーニングをする ②万歩計とストップウォッチを使って歩行時間を記録する ③主治医の指導を受け降圧剤による低血圧に注意する	①本人 通所介護 ②本人、娘 通所介護 ③主治医	週2回 随時 週2回 通院(月1回)
			心臓肥大にとって高血圧は大敵。食事療法と運動療法、薬物療法でバランスよく治療しましょう。	3ヶ月	①塩分を抑えた食事メニューに改善し、買い出しを行う ②1日3回、元気体操を10分間行う ③週2回(30分)は水泳教室で水中ウォーキングを行う	①本人 訪問介護、娘 ③本人/○○ 水泳教室 ③主治医	週5回 毎日 週2回



東京ディズニーランドと野球観戦を課題に設定し、短期目標が①近所のお寺での移動訓練、②一点杖の練習、③心臓肥大に配慮した体調管理、具体的に取組めるようになっていきます。

居宅サービス計画3

週間サービス計画書

時間	月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の活動
早朝	6:00						近所のお寺「写経会」	起床
午前	8:00							
	10:00	ヘルパーさん調理	ヘルパーさん調理	ヘルパーさん調理	ヘルパーさん調理	ヘルパーさん調理	娘来宅 昼食	朝昼兼用の食事(平日デイサービスの日) 朝昼兼用の食事(平日通常の日)
午後	12:00							昼食
	14:00	デイサービス・機能訓練・入浴	スーパーで買い物	スーパーで買い物	デイサービス・機能訓練・入浴	スーパーで買い物	外出(WHILLを車載して運出も) ・河川敷 ・○○公園	水泳教室 [水中ウォーキング]
夜間	16:00							
	18:00							
	20:00							夕食・お風呂 就寝
	22:00							



週2回のデイサービスで機能訓練と入浴、週5日はヘルパーさんに料理作りなどの家事支援、前日には食材購入のための買物などがバランスよく組み込まれています。

WHILL利用での変化

こちらは電動車いす使用者による生活の変化を示すものであり、電動車いすによる医療機器の効能効果を示すものではありません。

WHILLを迎えて娘さんと一緒に外出すること、その機会自体が増えたCさん。以前娘さんは、長時間歩きそうな場所へ行く際は、Cさんを気遣って一人で外出していましたが、「WHILLなら行ける」と必ず声をかけるようになりました。出かけた先でのお互いの気疲れもなく、遠慮や我慢をすることが減って楽しく過ごせるようになったことで、Cさん本人だけでなく、ご家族全体での外出意欲も増えています。

	親子での外出頻度	行動範囲	行動意欲	娘さんの行動
利用前	週末はゼロ回	デイサービスなど以外は留守番	何かしたい・出かけた気持ちはあっても諦める	外出時に声かけず
利用後	週末ごとにお出かけ(月3~4回)	平日に加え、週末にショッピングモールや近所のお寺など、出かけた先で歩くような広い施設に外出	行動意欲 高 デイサービスへの通所、日々のタスク*など「まだまだ頑張るぞ」と意欲的に	外出時に声をかけて一緒に出かけ

*日々のタスクとは・・・デイサービスがない平日に、ご本人様が「仕事・タスク」として実施するスーパーへの買い物のこと。ヘルパーさんが作成したケアプラン内に盛り込まれており、買ってきてほしい食材が記載されたノートを見ながら、自転車で行ったスーパーで買い出しをする。

ケアプラン事例2



Tさん 要介護度1

男性 / 80代後半 / 165cm・60kg

ご自宅生活中

- ☑ 膝の痛みにより、立ち上がりや歩き始めに痛みがある。
- ☑ ゆっくりとした歩行が可能。
- ☑ 半年前に運転免許を返納し、移動手段は徒歩のみ。
- ☑ 毎週末に友人と会う馴染みの喫茶店が坂の上であり、上ることがややつらい。



Tさんの日常生活のポイント

1 同居家族



奥様と二人暮らし

2 住居環境



マンションの4階に居住

3 現在利用中の福祉用具



1点杖

4 新たに利用する福祉用具



WHILL Model RK

5 日常生活での楽しみ



近所の公園へ行き、池の周りを散歩すること



喫茶店に行って、常連客や店主と会話すること



大好きな昭和歌謡を口ずさむこと

Tさんは、長年親しんだ車の運転免許を返納した後は移動手段が徒歩のみとなり、さらに膝の痛みも強くなってきたため、外出自体が大きなハードルとなっていました。近所で電動カートに乗っている人を見かけて「自分も乗りたい」と思い、担当ケアマネジャーに相談。普段はマンションの駐輪場にウィルを止め置き、毎回バッテリーを取り外して自宅で充電しています。狭い共用通路でも、その場で旋回や方向転換ができる取り回しのよさが気に入っており、気軽に出かけられそう、とうれしそうに話します。

Model RKのユーザー事例を見る

WHILL カルテvol.9



ご本人を知る～現状(WHILL利用前)

1. Tさんの性格・趣味・現状の生活を把握する



性格・職業歴	おおらかで明るく、豪快な笑い声が魅力。〇〇市役所に長年勤め、地域の人々や同僚からも信頼を寄せられてきた。今でも当時の同僚とは半年に一度集まり、近況を語り合いながら昔話に花を咲かせる。休日は妻と近所の公園を散歩したり、馴染みの喫茶店でモーニングを味わう時間を大切にしている。
趣味・こだわり	趣味はカラオケ。運転免許返納後は、公民館で行われていた週1回の定期レッスンから足が遠のいており、もう一度仲間と一緒に歌いたいと望んでいる。地区のカラオケ大会では、これまで何度もステージに立った経験があり、いつかスポットライトの下で、大好きな昭和歌謡を歌い上げたいという夢を持っている。
疾患歴	<ul style="list-style-type: none"> ●階段の上り下りで膝に痛みを感じ、特に起床時や長時間座った後はこわばって動きにくい。 ●膝への負担を減らすよう注意して生活している。高血圧の持病があり、現在薬を服用中。 ●医師の指導で減塩しょうゆやみそを使うなど食生活を工夫し、体力維持のため軽い運動も心がけている。 ●症状を悪化させないよう日々意識して過ごしている。
生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ●食事は1日3食を同じ時間帯に規則正しくとり、飲酒はしない。 ●自宅から徒歩10分ほどのスーパーに買い物へ行くが、帰り道は食材や日用品の重さが膝に負担となる。 ●途中のベンチで休みながら帰宅することもしばしば。 ●「もっと楽に動ければ、買い物や外出も気軽になるのに」と感じている。 ●日常の移動を少しでも快適にしたいと願っている。

軽度者*に対する電動車椅子の貸与については、

「日常生活範囲における移動の支援が特に必要と認められる者」とケアマネジャー等**が判断した場合は、市町村への確認依頼は不要です。

*要支援1/2および要介護1と認定された方(軽度者)

**ケアマネジャーまたは地域包括支援センター担当職員

日常生活範囲における移動の支援が特に必要と認められる者は、主治の医師から得た情報および福祉用具専門相談員が参加するサービス担当者会議等を通じた適切なケアマネジメントにより、ケアマネジャー等が判断します。

***市区町村によっては医師の診断書の提出が必要な場合がございます

軽度者申請理由の例

変形性膝関節症により、立ち上がりや起床時に痛みがあり、買い物などでの長時間の移動や荷物を持つての歩行の負担が大きく、休み休みとなっている。膝への負担を減らしながら、自立的な日常生活を維持するために電動カート(電動車椅子)が必要である。

ケアプラン ～Tさんの意思・課題に沿ったサービス計画～

居宅サービス計画1

本人及び家族の生活への意向を踏まえた課題の分析の結果	<利用者の意向>以前のように好きに散歩したり、喫茶店でコーヒーを飲んだり、大好きなカラオケの練習にも行きたいのですが、膝の痛みが強くなってきたため近頃は外出自体の頻度が減ってしまっていました。息子夫婦にはまだ頼りたくはなく、買い物や通院などできるだけ自力で生活を続けたいです。 <妻の意向>二人で近所のスーパーへ買い物に行っていますが、膝の痛みがあるせいか、時々つらそうにしているのでベンチで休んだりしています。近くの公園には、これからも梅やキンモクセイ、寒椿を見に行きたいなと思っているのですが、膝のことで外出ができなくなってしまうのを心配しています。
----------------------------	--

居宅サービス計画2

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	援助目標				援助内容		
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	サービス種別	(頻度)
ウィルを使いこなして、カラオケの定期レッスンに通い、地区大会のステージに立ちたい	自宅からカラオケのレッスンが開かれている公民館まで、ウィルを使って安全に移動できるようになる	6か月	自宅から徒歩20分ほどの公民館まで、安全に移動できるようになる	3か月	①ウィルの操作マニュアルの指導を受け、公民館のほか自宅周辺、公園の砂利道などさまざまな道路環境で練習する ②操作ができていないか定期的にモニタリング	①本人/福祉用具相談員 ②本人/福祉用具相談員	①週2回 ②随時
			膝の痛みが悪化しないよう、杖などを使って15分ほど歩くことができるようになる。	3か月	①腕や握力の筋力トレーニングを行う ②膝に負担がかからないように立ち上がる ③毎日の歩行時間と歩数を記録する	①本人 ②本人 ③本人	週2回

居宅サービス計画3

週間サービス計画書

時間	月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の活動
早朝								
午前	8:00							起床
	10:00		喫茶店		喫茶店			
午後	12:00	通院		筋トレ		筋トレ		昼食
	14:00			カラオケのレッスン		カラオケのレッスン		
	16:00	スーパーで買い物	スーパーで買い物	スーパーで買い物	スーパーで買い物		公園を散歩	
夜間	18:00							
	20:00							夕食・お風呂
	22:00							就寝

週単位以外のサービス	福祉用具(ウィル、杖)
------------	-------------

WHILL利用での変化

ウィルを生活に取り入れてからは、自宅から5分ほどの距離にあるスーパーへの買い出しなど日常生活で使うほか、坂を上った先にある馴染みの喫茶店にも日常的にモーニングへ通っています。趣味のカラオケも定期レッスンを再開し、地域の大会でもう一度ステージに立つという新たな目標にチャレンジしています。

	週末の過ごし方	外出への心理的ハードル	行動意欲	人との交流
利用前	自宅でテレビを見ながら過ごす	食材の買い出しもつらく、外出自体が億劫だった	何かしたい・出かけたいたい気持ちはあってもあきらめる	在宅が多く、家族との会話がメイン
利用後	毎週末のカラオケのレッスンを再開	移動の負担が軽減され、気軽に出かけられるように	行動意欲「まだまだできる」と自信につながり、新たな目標にも挑戦	趣味のカラオケ仲間との会話機会も増え、生活にハリが生まれた

ケア専門家の声

「自分らしい暮らし」を支える移動支援



高齢者生活福祉研究所 理学療法士
加島 守 様

外出や人と会う機会があることで、自分の好みのものの買い物、預貯金の出し入れといった金銭管理、そして身だしなみにも気を配るようになります。このように自分で目的を決めて出かけることは、自分の望む暮らしを実現することに直結しますし、そうした暮らしを支える手段として、**電動車椅子(以下、椅子型・ハンドル型を含む)は非常に有効です。**

また、通信機能付きの電動車椅子を使用すれば、もし「いつもと異なる(想定外の)生活」を送っていた場合も別居の家族が把握でき、適切なタイミングで病院の受診などのケアにつなげられるでしょう。

介護度が低い方でも**例外給付を申請することにより電動車椅子の利用が可能**です。早い段階から長期で利用し、できるだけ多くの人が自律した生活を送ることを願っていますし、**高齢化と人手不足が進む中、介護全体の効率化にも貢献すると期待**できます。

医療従事者様も支持



しんどい思いをしながら歩こうとするよりも

宮田広善 様

姫路聖マリア病院 小児科顧問
重度障害総合支援センター「ルルド」センター長

1時間以上かけて自分で服を着替え、長時間かけて自分の足で一生懸命に目的地に行き、結局自分のしたい活動の時間がとても短くなってしまふAさんより、人の手や機械の手を借りて服の脱ぎ着を15分で済まし、電動車椅子を使って移動を簡単に短時間で済ませることで、自分の活動時間をしっかりとるBさんの方が、人間の自立度として高くなるといった考え方を「ADLからQOLへ」と捉えています。電動車椅子は今後、QOLの向上において大きな役割を果たすだろうと思います。



自己実現のためのWHILL活用の大切さ

横山浩康 様

熊谷総合病院
リハビリテーション科/科長

自分らしい生活が送れるように、例えば、高齢の患者さんの場合、福祉用具を使ったほうが安全に移動できたり、転倒を防いだほうがより安全なんじゃないかということもあります。他者との関わりを持つことで、その方に頑張ってみようかなという気持ちにさせ、自立のモチベーションを上げる効果もあると考えています。

よくあるイメージ

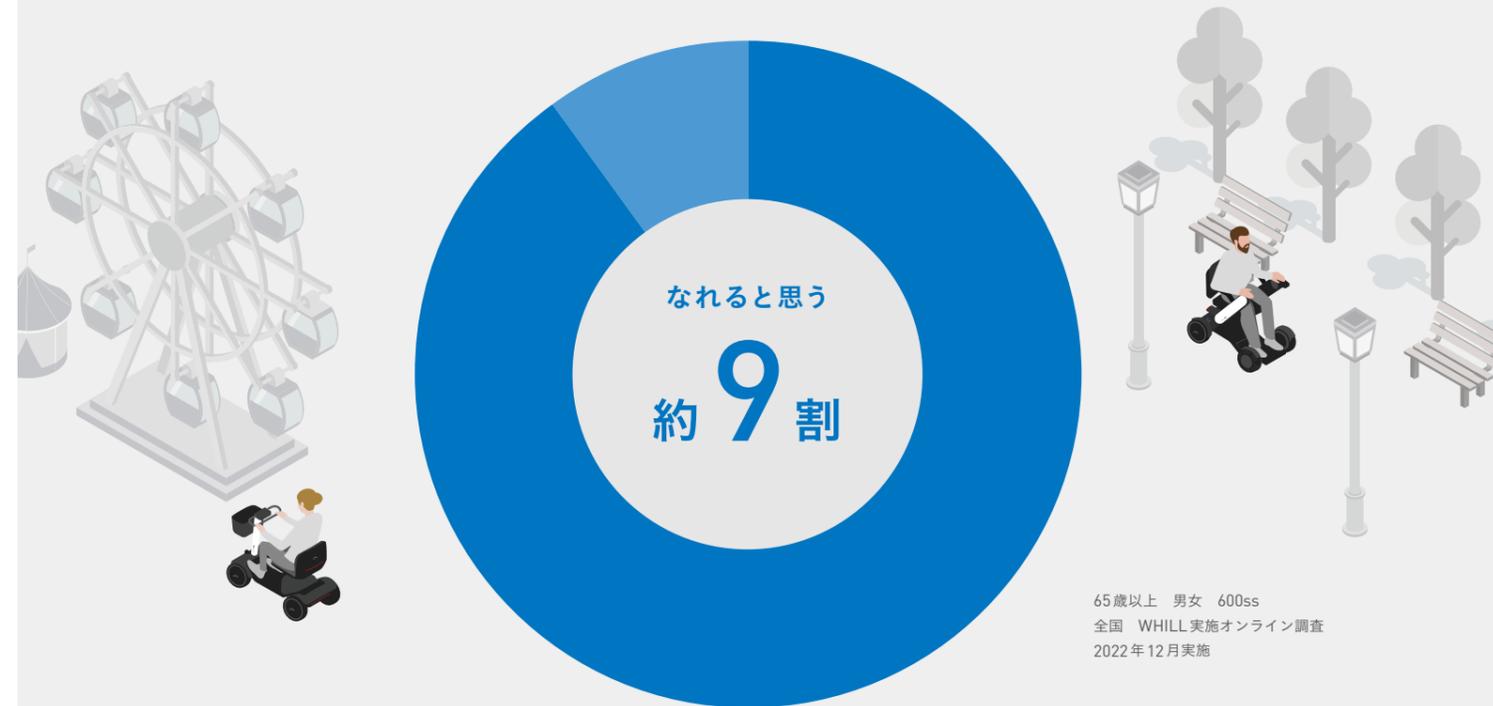
電動車椅子に乗ると歩行能力が衰える

利用実態

移動の体力を温存し、
「行った先でちょっと歩いてみよう」「やってみよう」と意欲が湧く

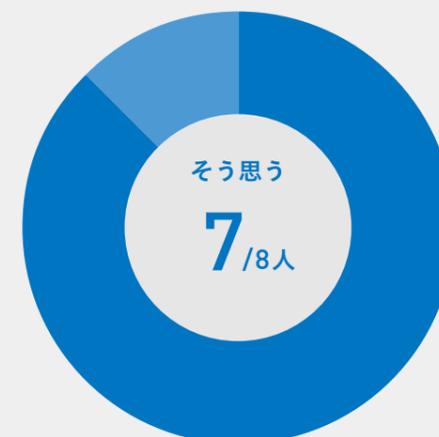
調査データもご紹介！

外出機会が増えれば社会と関わりを持つことに対し
より前向きになれると思うか？



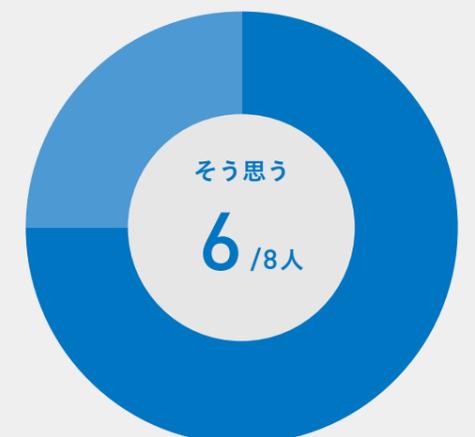
移動支援は利用者様の社会参画を後押し！

ウィルに乗ることで外出頻度が増える/
趣味や社会交流にもっと意欲的になれる



調査期間:2024年4月1日~9月30日
対象者:58~26歳の男女 計8人

ウィルに乗ることで
日常の行動や生活を自力でできる
助けになりそう



調査期間:2024年4月1日~9月30日
対象者:58~26歳の男女 計8人

退院後のスムーズな生活を支援 モビリティ利用訓練

回復期のリハビリ患者様が退院後、スムーズに日常復帰することを目的に、
その方に合った移動ツールとしてPT/OT様がウィルを紹介し、
生活環境に近い状況下で患者様に運転を体験してもらう訓練の事例をご紹介します。

鶯飼リハビリテーション病院様



50代男性
左半身麻痺
歩行には杖が必要

日常復帰への不安

職場復帰したいが、以前と同じ生活を送ることができるか不安
自分の体力を考えると、退院後は以前と比べて行動範囲が狭まるのでは

不安の軽減

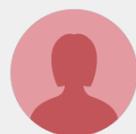
車が入り出る段差もウィルで乗り越えられた
通勤にウィルを使えば体体温存でき、疲れもだいぶ軽減されると思う
砂利道も走行できそう。趣味の神社巡りを再開したい



理学療法士
福井裕介様

毎日リハビリに取り組む患者様の中には、「できないこと、上手くいかないこと」に日々直面し、
体力的にも精神的にも辛かったり、大きな負担を感じたりしていると思います。ウィルに乗ること
で、「自分の力ができる」ことが患者様の自信に、また、リハビリの気分転換にもつながると期
待しています。

中伊豆リハビリテーションセンター様



40代女性
右半身麻痺
車の運転再開が目標

退院後のウィル利用

自宅から駅までウィルに乗り、帰りは夫と交代して歩くなど、自身のペースでリハビリとして活用
歩きづらさはあったが、ウィルに乗ると気分転換になる

車の運転再開

ウィルに乗ることで、運転操作する感覚を維持
時速6kmのやや早めのスピード感に身体を慣れさせた
退院から1年後、目標としていた車の運転再開を達成



作業療法士 主任・
作業療法学博士
那須識徳様

脳卒中患者様の7割が車の運転再開を希望するものの、半数程度が退院後すぐの再開が困難
です。現実とのギャップに苦しみ、活動量が減少してしまうことも。
どんな状況下でもやりたいことを続けられるよう、近距離モビリティの活用や、地域の移動支
援を通じて活動量を維持することが重要と考えます。

地域社会との関わりを創出 ウィルの施設導入事例

ウィルは地域を活性化する取り組みの一つとして、
各地の施設への導入が広がっています。
介護/リハビリが必要になるよりも前の段階から触れておくことで、
外出機会の維持に役立ちます。

社会との関わりの創出により、医療機関だけでなく地域社会全体でシニアを支えられます。



シャポー市川(千葉県)

日々の買い物の場として地域住民に利用されています。



小田原城址公園(神奈川県)

地域の憩いの場として親しまれています。



勝尾寺(大阪府)

年中行事などで、地域住民に親しまれています。

法人向けの
レンタルサービスについて
詳しく知る

WHILL
モビリティサービス



3 安全な利用のための取り組み



ウィルは免許不要で歩道を走れる、歩行領域をカバーする電動の近距離用の移動手段です。道路交通法上、電動車椅子に該当します。時速6km/h以下で走行し、歩行者扱いとなります。

「歩行者」としてのルール

通行時に気をつけること

歩道あり
歩道を走行

道路を横断するとき
横断歩道を通行

歩道なし
路側帯を右側通行

踏切を渡るとき
手前で一旦停止
線路に対し直角に通行

歩道・路側帯なし
道路を右側通行

信号を渡るとき
余裕を持って
次の「青」を待つ

Model C2/F固定方法(バス・タクシー)

- ・QRコードから公共バス利用マニュアルがダウンロードできます。バス・タクシーの乗務員に提示してください。
- ・バス・タクシーの使用や装備により利用が困難な場合があります。事業者へ、事前に確認することをお勧めします。
- ・利用方法に沿った利用ができない場合、バス・タクシーの利用をお控えください。

*Model R/Sには当てはまりません。



サービス事業者との連携事例

利用開始時の試乗・運転指導

利用開始前には、ご自宅周辺や、いつも使っている道など、実際の生活環境で試乗を行います。専門のスタッフが対応します。

- ・製品・操作説明
- ・交通ルールの説明
- ・保管場所の確認
- ・充電方法の説明 など



福祉用具専門相談員(貸与事業者)による定期モニタリング

福祉用具専門相談員(貸与事業者)による、定期モニタリング時にご利用いただけるモニタリングシートを福祉用具専門相談員(貸与事業者)向けに提供しています。

モニタリング結果は、ケアマネジャーへ連携の上、計画の作成・変更に活用いただけます。



包括/居宅事業所での体験会/試乗会

地域の皆様向けに、近隣のサービス事業者と連携して電動車椅子体験会・試乗会を実施しています。フレイル/軽度者の段階から電動車椅子について知り、早期に生活に取り入れることで、重度化の防止や外出機会の維持、QOL向上に寄与します。





4 近距離モビリティウィルのご提案

WHILL社は、2012年5月に日本で創業し、「すべての人の移動を楽しくスマートにする」をミッションとして、20以上の国と地域で近距離移動のプロダクトとサービスを展開しています。主な事業は、高いデザイン性や操作性などが特徴の近距離モビリティウィルの開発・販売、およびウィルを活用して気軽な移動体験を提供するモビリティサービス(法人レンタル/自動運転)です。WHILL社は2事業を柱に、近距離の中でも、他の移動手段では行けなかった、歩行領域(歩道・屋内外)の移動をカバーすることで、誰もがどんな場所にもつながる世界を構築します。

WHILL社のこれまでとこれからのついて詳しく知る

WHILL Story



WHILL社の各種SNSをフォロー

SNSリンク集



ウィルの活用方法

	一時利用・オンデマンド		日常利用	
法人レンタル	リハ室に導入し、患者様にモビリティ利用訓練をご提供		介護保険レンタル	ケアマネージャー様/貸与時事業者様と連携し介護保険利用にて日常の移動支援を実現
製品ラインナップ	 これからのプレミアムカー Model C2	 折りたためるモビリティ Model F	 スマートになった歩道のスクーター* Model R	 歩道を走れるスクーター* Model S
介護保険対応	対応	非対応	対応	非対応
走行距離	20km	20km	17km	33km
段差乗り越え性能	5.0cm	3.5cm	5.0cm	7.5cm
利用シーン	屋外・屋内どちらも◎ 小回りと乗り心地を両立	段差の少ない屋外・屋内 省スペースで保管可能	狭い場所もある屋外	段差の多い屋外
共通した特徴	電動車椅子の規格/道路交通法上「歩行者扱い」/時速6km以下で歩道を走行可能/斜度10度走行可/免許不要/ヘルメット不要/デザイン性/操作性/小回り			

*時速6km以下で走行する近距離モビリティです

WHILL Model R/C2共通の特徴



おでかけしたくなるデザイン



着脱バッテリー、室内で充電可能



5cmの段差も楽々クリア



のぼり坂も安心して移動(登坂能力10°)

こんな方には
WHILL Model C2
がおすすめ



- 店内や屋内にも乗ったまま入りたい
- 公共交通機関も利用したい
- 片手で操作したい

こんな方には
WHILL Model R
がおすすめ

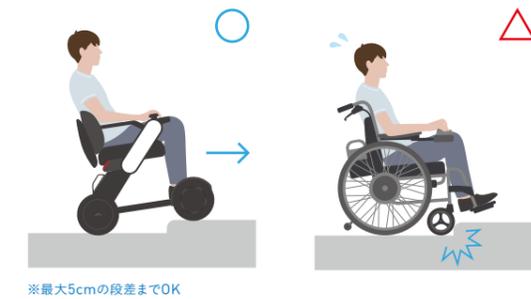


- 自転車やバイク感覚でハンドル操作したい
- 買い物袋や荷物をたっぷり入れたい
- 毎日をアクティブに過ごしたい

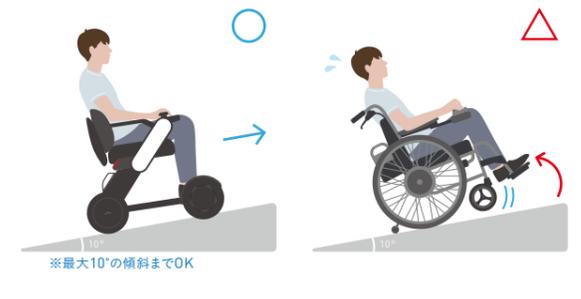
WHILL Model C2と 簡易型電動車椅子の違い



段差乗り越え(3cm) 簡易電動は前輪が乗り越えられない。



上り坂 簡易電動は10度の坂で前輪が浮いてしまい、不安定。



下り坂 簡易電動はブレーキをかけた後にしばらく動いてしまう。



WHILL Model Rと 電動カートの違い



ウィルは室内で充電できる着脱式バッテリー。
電動カートは本体からコードを伸ばすタイプが多い。



5 WHILL Model C2のご紹介

POINT 01 外出をサポートする便利な機能



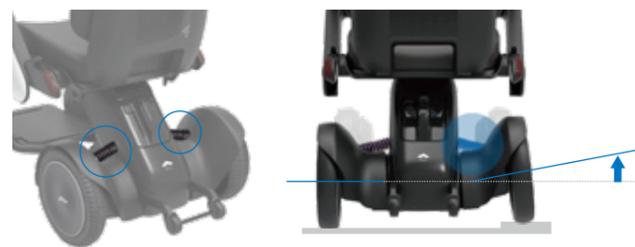
片手で簡単操作

スピード調整、電源オンオフも片手で。手を離すと坂道でも自動でブレーキがかかります。コントローラーは左右のどちらにも付け替え可能です。



まとめ買いも余裕のショッピングバスケット&荷物かけ

20ℓの大容量かごで買い物にも便利。足元にあるためスムーズに出し入れが可能です。バックサポートにはリュックなどの荷物をかけることもできます。



狭い場所でもスムーズな動き

特殊な前輪(オムニホイール)を採用することで、その場で360度回転でき、小回りの効いた動きが可能。狭い自宅内移動(廊下、キッチン等)、職場の狭い机のすり抜け、エレベーター内での回転、などでもスムーズ。スーパーや病院など、電動カートでは入れない場所でも、小回り機能でらくらく移動。



分解して通常の乗用車に積載可能

4ステップで簡単に3分割。載して、病院やショッピングモールへ。分割してマンション室内に保管

長時間走ってもストレスフリー

後輪のサスペンションにより、でこぼこ道や段差乗り越えの衝撃を吸収。長時間走ってもストレスを感じません。



POINT 02 安全な移乗をかなえる便利な機能



アームサポート跳ね上げ
アームレスト「両側」跳ね上げ可能
片側からの横移乗
スライドボード利用での移乗も可能



フットサポート跳ね上げ
フットサポートを90度跳ね上げられます。

横移乗の際に健側(足、手)利用での跳ね上げ

フットプレートを上げての360度回転移乗



フットサポートに乗っても倒れない安定性

重心が低いので安定性抜群。体重のある方が全体重かけて移乗可能。



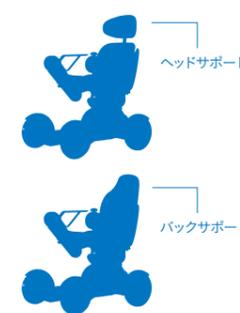
POINT 03 お身体の状態に合わせたフィッティングが可能

WHILL Model C2 パイプフレームタイプ ¥525,000(非課税)

さまざまなバックサポートクッションやヘッドサポートを装着することができます。分解時にはフレームの折りたたみが可能です。

市販の製品を取り付けることも可能です。例えば...

ヘッドサポート
様々な形状のヘッドサポートが取り付けられます。頭部のサポートが必要な方に。



高性能なバックサポート
体幹が左右に倒れてしまう方の身体状況に合わせた、ディープバックやラテラルサポートなども取り付けすることができます。



コントローラー

コントローラーを3種類からお選びいただけます



マウス
(標準装備、無料)
手のひらに乗せて操作します。



スティック
¥5,500(税込)
手で掴んだり指の間に挟んで操作します。



Uシェイプ
¥14,850(税込)
指や手首に乗せて操作が可能です。

6 WHILL Model Rのご紹介

POINT 01 外出をサポートする便利な機能



その場で旋回、感動の小回り。

狭い小道や人混み、エレベーターの中など、あらゆる場所で、簡単に方向転換できる国内最小クラスの回転半径。



驚異の小回りを実現。

デュアルモーターシステム

後輪の回転数を独立して制御することで、高い小回り性能や走行安定性を実現します。



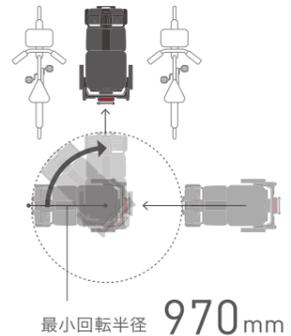
90度近くハンドルをきれる。

フロントタイヤ

デュアルモーターシステムと90度近く曲がるタイヤで、後輪を軸にその場で旋回できるほどの最小回転半径を実現しています。



限られたスペースに駐車する際にも、容易に操作することができます。



たっぷり便利なバスケット



軽量の着脱式バッテリー



家庭用コンセントで簡単に充電ができます。

POINT 02 安全な利用をかなえる便利な機能

でこぼこ道でも安定性を保つ 長時間乗っても疲れな乗り心地

前輪にサスペンション、後輪に独立懸架サスペンションを採用。デュアルモーターシステムなどの、新しい技術を搭載し、長時間の運転でも快適な乗り心地を実現しています。



快適な旋回をサポートする。
リアスタビライザー
旋回時の車体のロールを抑制することで、安定した旋回性能を実現。

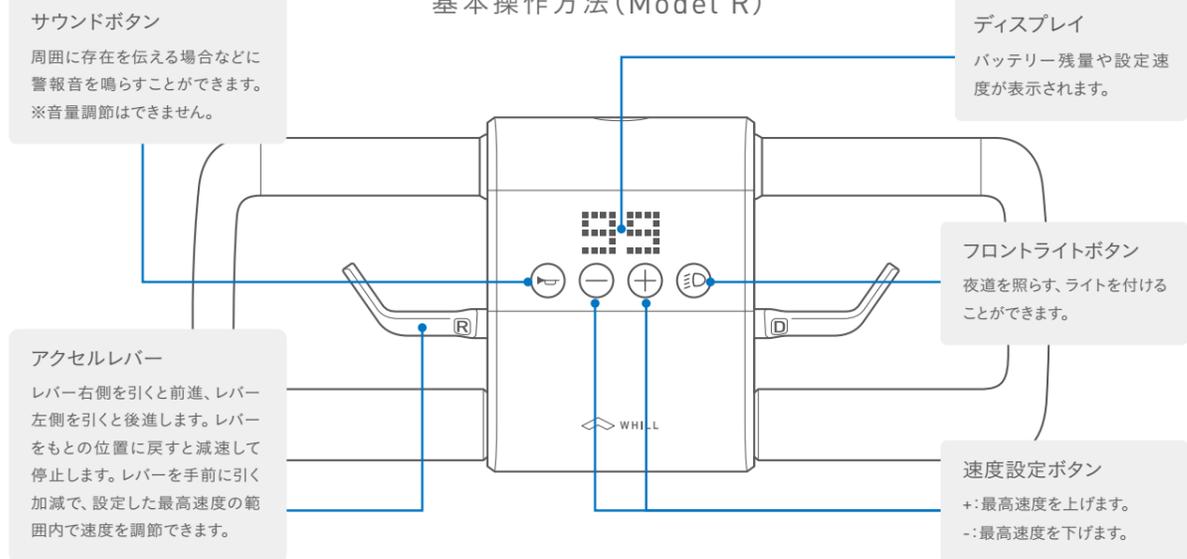


あらゆる路面を安定して走行する。
フロント&リアサスペンション
後輪には独立懸架サスペンションを採用することで、車輪が独立して個別に動き、あらゆる路面でも安定性を保ち、振動を吸収します。



曲がるときに安全に自動減速する。
舵角センサー
舵角センサーで曲がる時の左右のモーター回転数を調整。右左折時には自動で減速するため、安全な旋回を実現します。

基本操作方法 (Model R)



体のサイズに合わせて調整できる設計

体のサイズやお好みにあわせて、シートの高さと奥行き、シャフトの角度調整が可能です。



長時間乗っても疲れな広く快適なフットプレート

足元が広々としており、乗り込む際や長時間の使用でも快適なスペースを確保しています。